

月刊プリントの使い方

ひとりごと

まだ、月刊プリントを使っている学校があるのですか。おかしいですね。そういうプリントは、使わないようにという通達が、かなり以前に出たような記憶があるのですが。指導者の指導した方向で、授業を評価するのに、月刊プリントは、おかしいですね。指導の方向は、みんな同じなのではないでしょうか。子どもたちの評価のためのテストに使うのは、考えものですね。

でも、現実に月刊プリントは使われているようです。では、どのように使えばよいのでしょうか。その例をあげてみることにします。

(その1)

単元の終わりにプリントをさせる。

T: プリントをします。わからないところは、教科書やノートを見て、書き込みましょう。
・必要ないと思われる問題は、前もって削除する。

プリントの答え合わせをする。

指導者の授業の一つの評価としてとらえる。
・授業の中でぬけていたところが見つければ、答え合わせの中で指導する。
・指導の方向が違う場合は、自分の指導した方向にその問題を変える。

単元のまとめのテストをする。

・後日、プリントの中で重要と思う問題を切り抜き、それに、自分が必要と思う問題を作り、それらをあわせてテストプリントを作り、テストをおこない、評価をする。

(その2)

毎時間のまとめとして利用する。

・毎時間の終わりに、その時間に関係のある問題だけを切り抜いて子どもたちにさせる。

単元のまとめのテストをする。

・後日、プリントの中で重要と思う問題を切り抜き、それに、自分が必要と思う問題を作り、それらをあわせてテストプリントを作り、テストをおこない、評価をする。